

東京都（伊豆諸島南部）に大雨特別警報発表

10 日 17 時 00 分に東京都（伊豆諸島南部の三宅村、御蔵島村）に大雨特別警報を発表しました。大雨に関する概要や留意事項を別添の通りお知らせいたします。

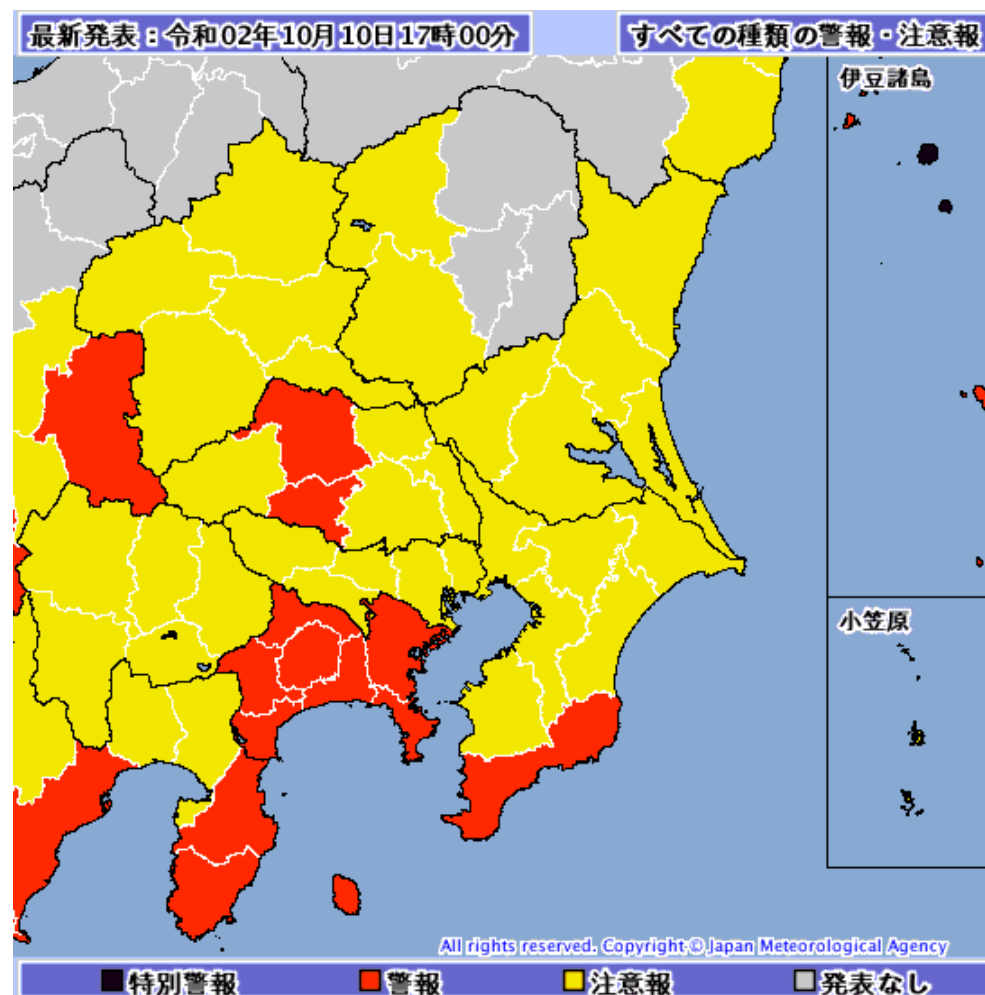
問合せ先：大気海洋部業務課 電話 03-3211-8302

東京都(伊豆諸島南部)に大雨特別警報発表

- 東京都(伊豆諸島南部の三宅村、御蔵島村)に大雨特別警報を発表しました。特別警報を発表した三宅村、御蔵島村では、これまでに経験したことのないような大雨となっています。
- 特に土砂災害警戒区域や浸水想定区域などでは、土砂崩れや浸水による何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高く、警戒レベル5に相当する状況です。命を守るために最善を尽くさなければならない状況です。
※ 指定された避難場所へ向かうことにこだわらず、川や崖から少しでも離れた頑丈な建物の上の階などに避難をする判断をしてください。それすら危険な場合には、崖と反対側の二階以上の部屋に移動するなど、少しでも命が助かる可能性の高い行動をとることが重要です。
- また、普段災害が起きないと思われるような場所でも最大級の警戒が必要です。
- 今後、他の市町村にも大雨特別警報を発表する可能性があります。特別警報が発表されてから避難するのでは手遅れとなります。自分の命、大切な人の命を守るため、特別警報の発表を待つことなく、地元市町村からすでに発令されている避難勧告(警戒レベル4)等に直ちに従い緊急に身の安全を確保してください。
- これから夜間であることから、避難する際には周囲の状況を十分に確認してください。
- 今後、発表する地域に応じた詳細な情報を確認するとともに、今いる場所の災害発生の危険度を気象庁HP等の「危険度分布」で確認してください。

特別警報・警報の発表状況

10月10日
17時時点の資料



特別警報・警報が発表されている市町村内のどこで災害発生の危険度が高まっているかを「危険度分布」で確認してください。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(気象警報・注意報：<https://www.jma.go.jp/jp/warn/>)

危険度分布

10月10日
17時時点の資料

2020年10月10日17時00分

土砂災害



大雨警報（土砂災害）の危険度分布
（土砂災害警戒判定メッシュ情報）

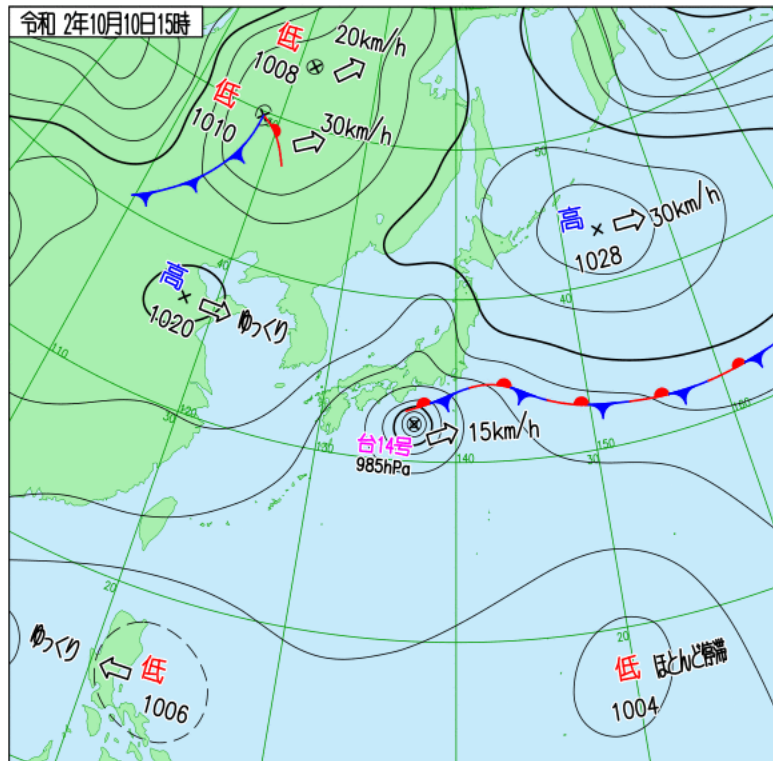
高	極めて危険	【警戒レベル4相当】
危険度	非常に危険	【警戒レベル4相当】
	警戒	【警戒レベル3相当】
	注意	【警戒レベル2相当】
低	今後の情報等に留意	

- 危険度分布において、5段階に色分けされたうち、最大の危険度（濃い紫）となっている場所では、土砂崩れや浸水により、すでに避難が困難となっているおそれがあります。
- 上から2段階目の危険度（うす紫）となっている場所では、災害が切迫し、避難が必要とされる警戒レベル4に相当する状況です。
- これらの場所において、土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、直ちに避難の判断をしてください。

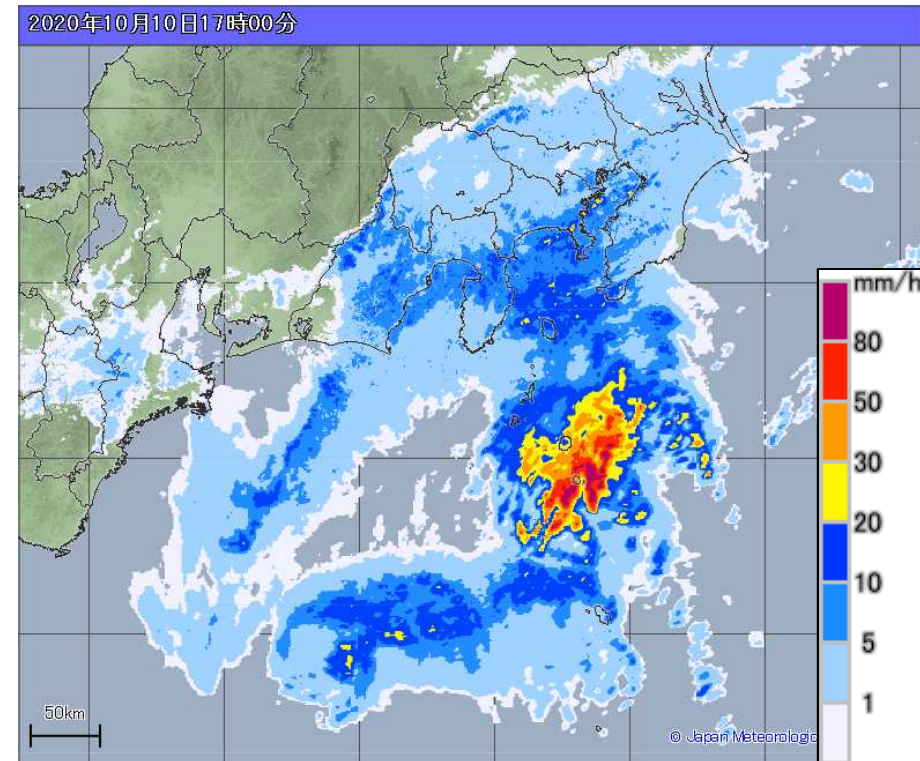
今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
（危険度分布：<https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/index.html>）

気象実況

10月10日
17時時点の資料



地上天気図



雨雲の様子

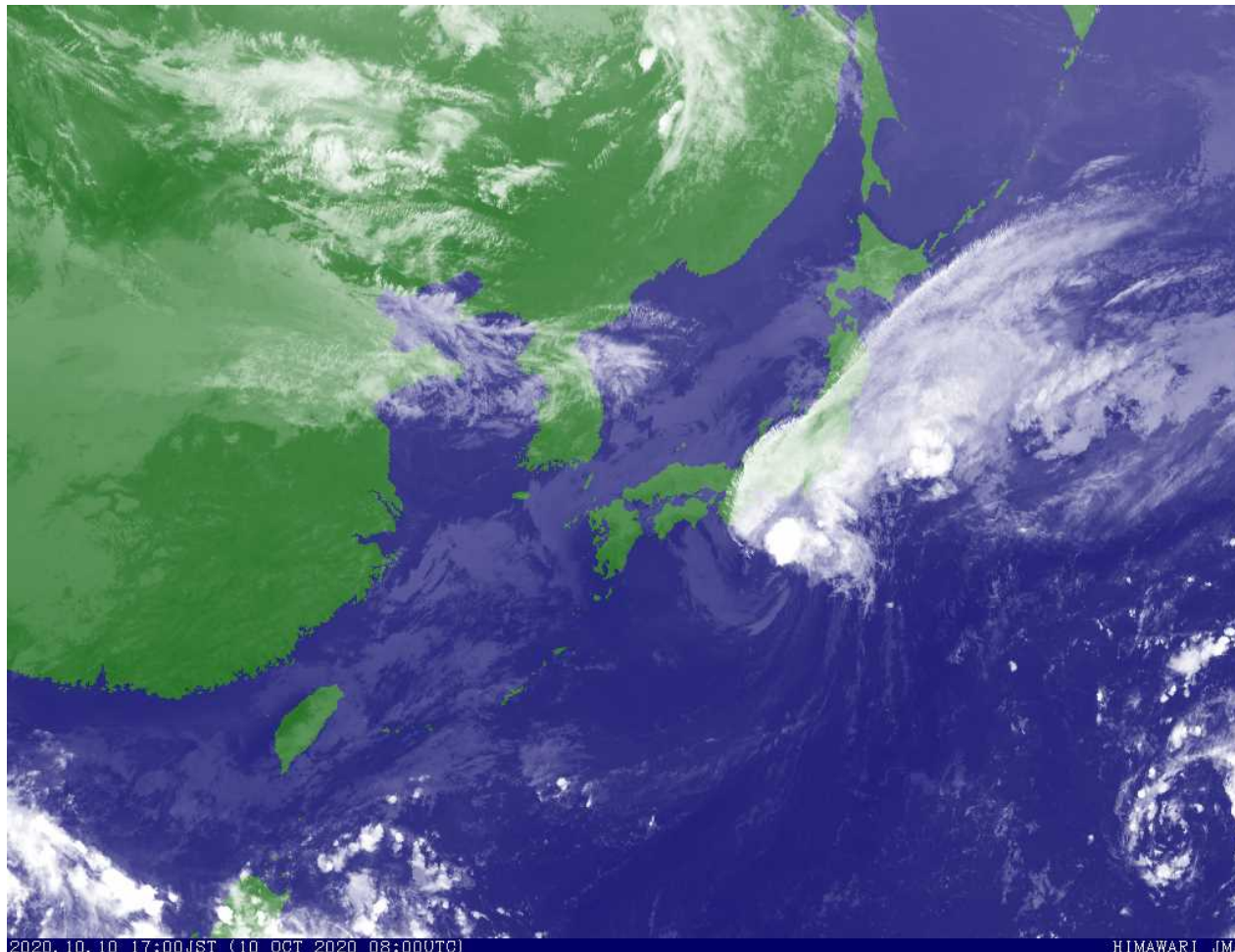
今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。

(天気図：<https://www.jma.go.jp/jp/g3/index.html>)

(雨雲の動き(高解像度降水ナウキャスト)：<https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/>)

気象実況

10月10日
17時時点の資料

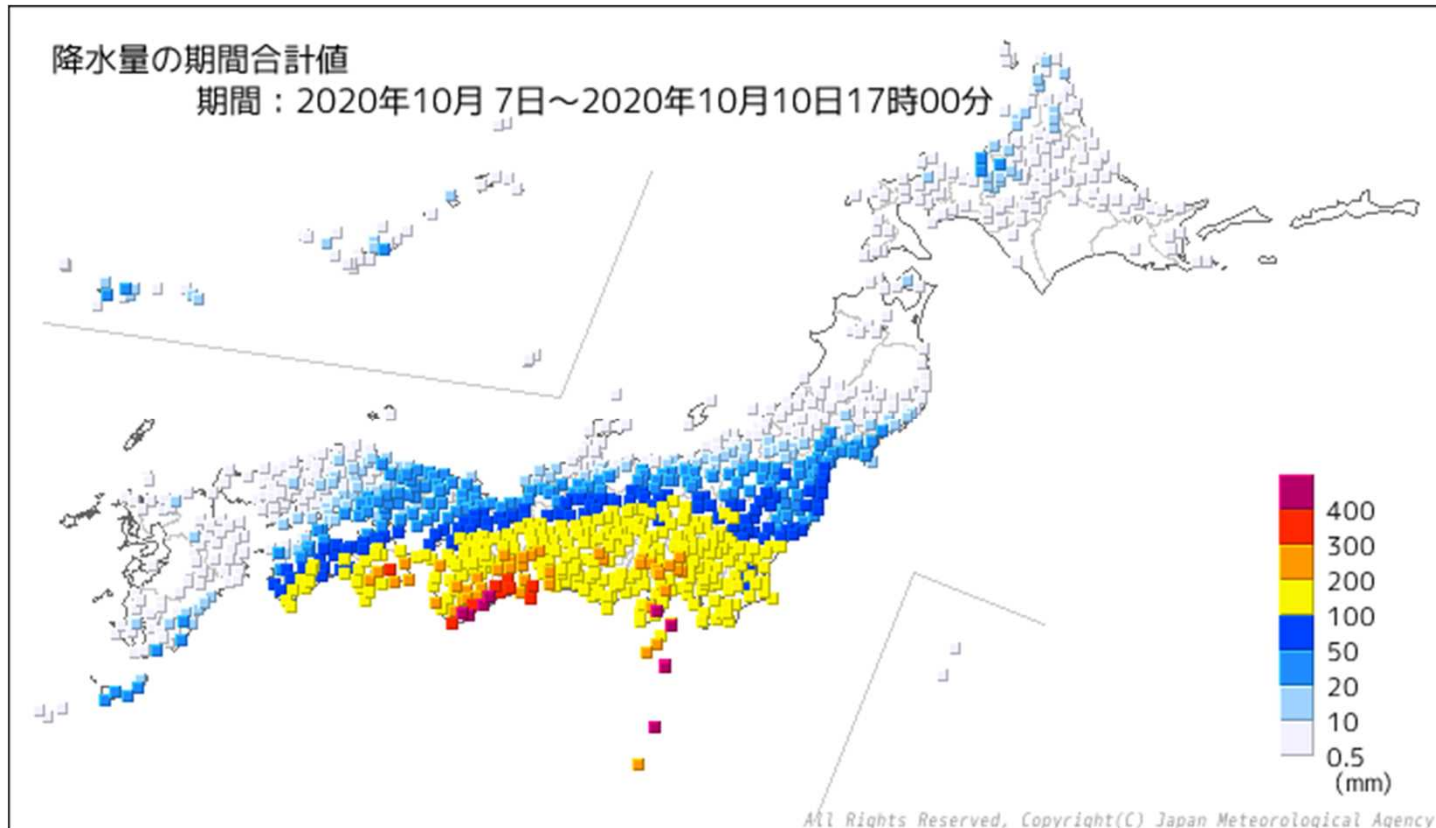


気象衛星（赤外画像）

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(衛星画像：<https://www.jma.go.jp/jp/gms/>)

気象実況(降水量)

10月10日
17時時点の資料



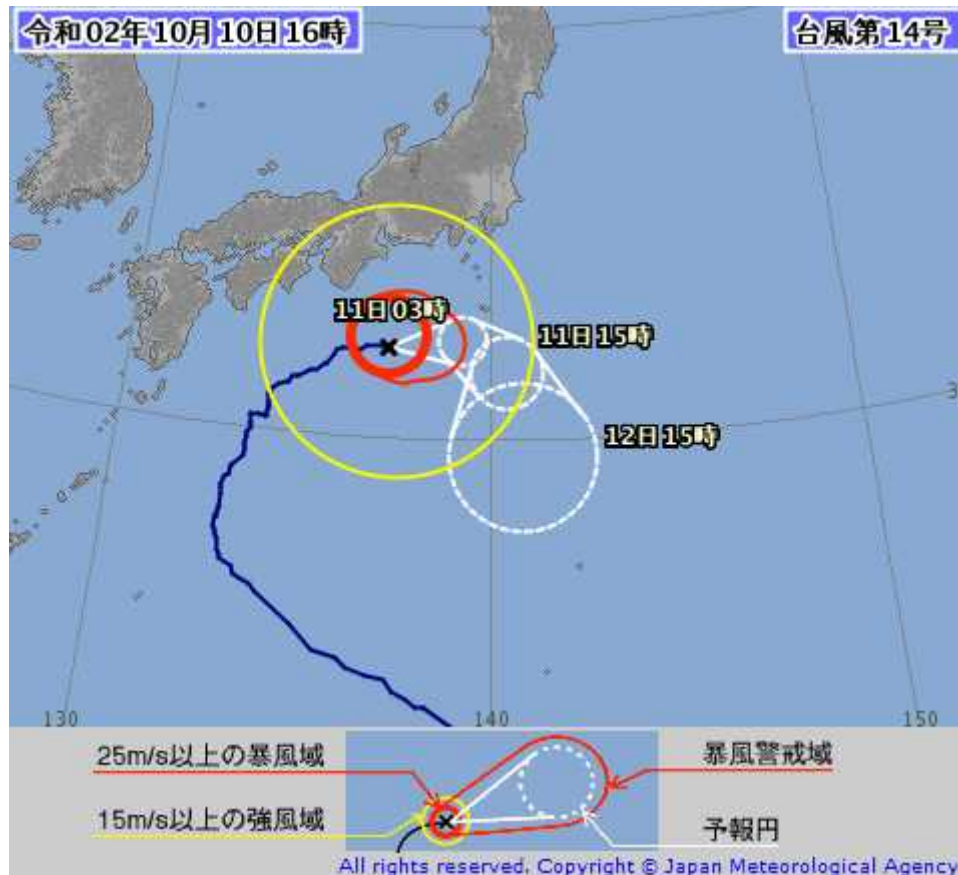
降り始め(7日)
からの総雨量

三宅坪田 538.0ミリ 三宅島 460.0ミリ

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(最新の観測データ：https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/pre_rct/index24_rct.html)

台風の見通し

10月10日
17時時点の資料



台風第14号は、10日16時には、八丈島の西南西約270キロにあって、1時間におよそ15キロの速さで東北東へ進んでいます。
中心の気圧は985ヘクトパスカル、
最大風速は30メートル、最大瞬間風速は40メートルで
中心の北側130キロ以内と南側75キロ以内では
風速25メートル以上の暴風となっています。
また、中心の北東側390キロ以内と南西側330キロ以内では風速15メートル以上の強い風が吹いています。

台風の中は11日15時には八丈島の南南東約180キロを中心とする半径95キロの円内に達する見込みです。
中心の気圧は992ヘクトパスカル
最大風速は23メートル、
最大瞬間風速は35メートルが予想されます。

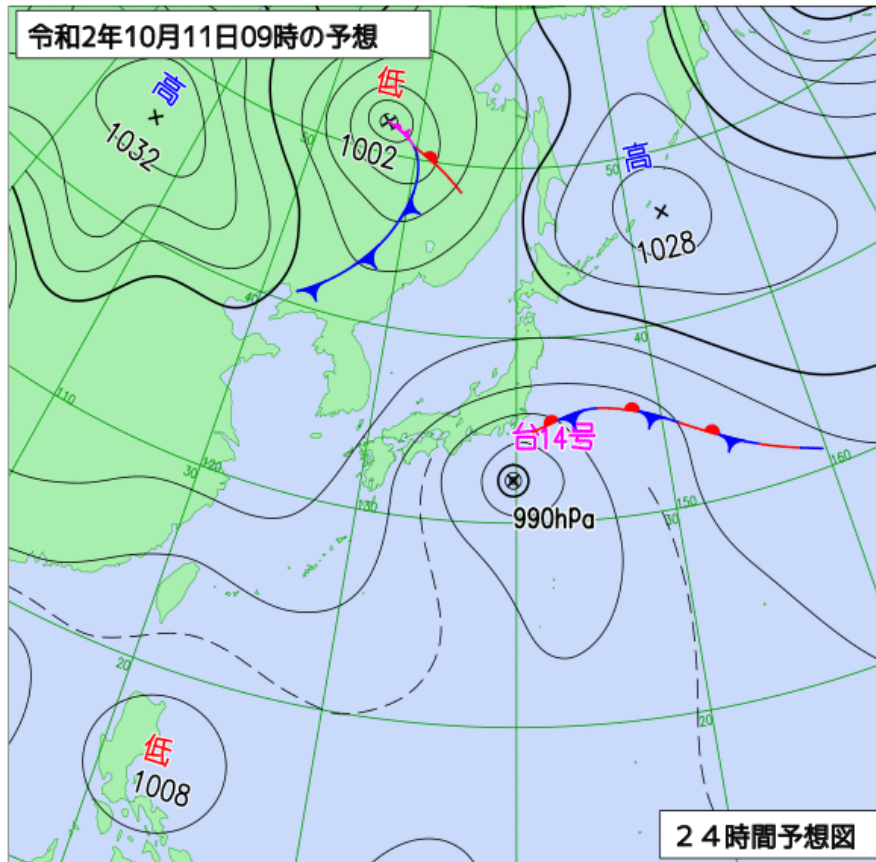
台風予報

台風経路図 (10月10日16時発表)

今後の予想を含めた最新の情報は各地の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(台風情報：<https://www.jma.go.jp/jp/typh/>)

今後の見通し

10月10日
17時時点の資料



東京都(伊豆諸島南部)では、猛烈な雨が降っており、土砂災害や洪水の危険度が高まっています。11日明け方まで非常に激しい雨が降り、危険度の高い状態が続く見込みです。

10日18時から11日18時までに予想される24時間雨量(多い所)

伊豆諸島南部 300ミリ

雨量の見通し

予想天気図 (10月11日9時予想)

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。

(予想天気図: <https://www.jma.go.jp/jp/g3/index.html>)

(気象情報(雨の見通しなど): <https://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/>)

関連資料の掲載場所

今後の予想を含めた最新の情報は、以下からご利用ください。

- 気象警報・注意報（大雨、洪水、暴風（雪）、波浪、高潮、大雪などによる災害への警戒・注意を呼びかける）
<https://www.jma.go.jp/jp/warn/>
- 危険度分布（どこで土砂災害、浸水害、洪水の危険度が高まると予測されているかを地図上に表示）
 - 土砂災害 <https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>
 - 浸水害 <https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html>
 - 洪水 <https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>
- 各地の気象情報（気象概況や大雨の見通し）
<https://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/>
- 台風情報（台風の位置・強さ・速度などの解析・予報、大雨や暴風の見通し）
<https://www.jma.go.jp/jp/typh/>
https://www.jma.go.jp/jp/typh/typh_text.html
- 指定河川洪水予報（国や都道府県の管理する主な河川の氾濫の危険度を予測）
<https://www.jma.go.jp/jp/flood/>
- 土砂災害警戒情報（命に危険が及ぶ土砂災害の発生が切迫したときに厳重な警戒を呼びかける）
<https://www.jma.go.jp/jp/dosha/>
- 最新の気象データ（雨雲の動き、レーダー・ナウキャスト（降水・雷・竜巻）、今後の雨、雨や風の観測データ、衛星画像）
<https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/>
<https://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>
<https://www.jma.go.jp/jp/kaikotan/>
https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/pre_rct/index24_rct.html
https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/wind_rct/index_mxwsp.html
<https://www.jma.go.jp/jp/gms/>
- 14か国語による防災気象情報の提供
<https://www.jma.go.jp/jma/kokusai/multi.html>
- 避難行動判定フロー・避難情報のポイント（内閣府（防災担当））
http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/h30_hinankankoku_guideline/pdf/campaign.pdf
- 新型コロナウイルス感染症が収束しない中での避難について（内閣府（防災担当）・消防庁）
<http://www.bousai.go.jp/pdf/colonapoint.pdf>



気象庁HPのバナーをご利用ください。



気象庁防災情報
Twitter

[@JMA_bousai](https://twitter.com/JMA_bousai)

気象庁公式の防災情報アカウントを開
設しました。台風接近や大雨の
おそれがある場合等に、現況や今後の
見通し、防災上の留意点、緊急会見
の内容等を解説します。

位置づけ・役割

<位置づけ>

大雨特別警報は、避難勧告や避難指示（緊急）に相当する気象状況の次元をはるかに超えるような現象をターゲットに発表するもの。発表時には何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い。

<役割>

- （１）土砂災害警戒区域や浸水想定区域など、災害の危険性が認められている場所からまだ避難できていない住民が直ちに命を守る行動を徹底
- （２）災害が起きないと思われているような場所においても災害の危険度が高まる異常事態であることの呼びかけ
- （３）速やかに対策を講じないと極めて甚大な被害が生じかねないとの危機感を防災関係者や住民等と共有することによる、被害拡大の防止や広域の防災支援活動の強化

(参考) 段階的に発表される防災気象情報の活用例



「避難勧告等に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、避難準備・高齢者等避難開始(警戒レベル3)に相当します。

※2 暴風警報が発表されている際の高潮警報に切り替える可能性が高い注意報は、避難勧告(警戒レベル4)に相当します。

(参考)「危険度分布」の通知サービスについて

- 土砂災害や洪水等からの自主的な避難の判断に役立てていただくために、危険度が高まったときにメールやスマホアプリでお知らせするプッシュ型の通知サービス※¹を実施しています。
- この通知は市町村からの避難勧告等よりも先に届く場合があります。このため、通知を受信したときには、市町村からの避難勧告等を確認するとともに、避難勧告等が発令されていなくても、市町村内のどこで危険度が高まっているかを「危険度分布」の地図や河川の水位情報等で確認することで、自主的な避難の判断※^{2・3}に活用いただけます。



※¹ 住民の主体的な避難の判断を支援する取組の一環として、気象庁の協力のもとで、以下のリンク先の5つの事業者が実施するものです。
(http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/ame_push.html)。

※² 離れた場所に暮らしている家族に避難を呼びかけることにも活用いただくことができます。

※³ 避難にあたっては、あらかじめ指定された避難場所へ向かうことにこだわらず、川や崖から少しでも離れた頑丈な建物の上の階などに避難するなど、自らの判断でその時点で最善の安全確保行動をとることが重要です。